

中央区の“ちょっとすごい!”を見て歩き



中央区まちかど展示館

2023 Summer
Vol.14
日本橋編 Part.6
TAKE FREE

日本橋

江戸職人の技術と心意気を、今ここに

浜町・堀留町・富沢町・人形町

【特集】
川と橋の歴史散歩

まちと一緒に歩み続ける老舗を訪ねて
まちかど展示館訪問
展示館おすすめのお店や歴史スポットをご紹介
日本橋エリア散策MAP
Part.6
【連載】
中央区の食とアートを知る
食の痕跡、絵画の道楽



中央区まちかど展示館公式SNS



ホームページURL

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp>

季刊誌 中央区まちかど展示館 Information

既刊Vol.01～Vol.13もダウンロードできます



- Vol.01 日本橋編
- Vol.02 銀座・京橋 / 月島編
- Vol.03 総集編
- Vol.04 月島編
- Vol.05 日本橋編 Part.1
- Vol.06 銀座・京橋編 Part.1
- Vol.07 日本橋編 Part.2
- Vol.08 日本橋編 Part.3
- Vol.09 銀座・京橋編 Part.2
- Vol.10 日本橋編 Part.4
- Vol.11 月島編 Part.2
- Vol.12 日本橋編 Part.5
- Vol.13 銀座・京橋編 Part.3

中央区まちかど展示館ウェブサイト 季刊誌ダウンロードページ

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/book.html>

次号Vol.15は日本橋編です。江戸文化を今に伝える各展示館を訪問します。お楽しみに!

◎発行日:2023年7月13日

◎発行:中央区まちかど展示館運営協議会(中央区区民部文化・生涯学習課内) tel: 03-3546-5346 mail: b-syogai_01-mk@city.chuo.lg.jp

◎制作:Asaba & Co ◎デザイン:AD-NA ◎撮影:kt-design ◎文:秋元祐子 ◎イラスト:堀口珠美

POST CARD

1 0 4 - 8 4 0 4

恐れ入りますが
63円切手を
貼って
お出しください。

中央区築地1-1-1 中央区役所(文化・生涯学習課内)
中央区まちかど展示館運営協議会

中央区まちかど展示館アンケート 係り

差し支えない範囲でご記入ください。

お答えいただいた個人情報(本紙アンケートの目的のみに使用されるもので、その他に使用することはありません。当選された方には、下記住所に景品を送付いたしますので、お間違いないようご記入ください。)

◎ご住所 〒

◎お名前

◎電話

◎職業

◎性別 男・女

◎年齢

今号でご紹介する展示館の近くにも、かつては川がありました。

川や橋の面影を探しながら、まちの歴史に触れてみましょう。

川と橋の歴史散歩

浜町川

はまちようがわ

VOI-12で途中までご紹介した浜町川。江戸初頭に隅田川側から開削された堀で、明治時代には神田川までつながり舟運に利用されました。戦後に上流から小川橋まで暗渠化され、昭和47年にすべて姿を消しました。



昭和40年代まで一部存在し、現在は埋め立てられた川



1 高砂橋

現・久松児童公園の
みどり通り側入口にあった橋。



東京市教育施設復興図集—久松小学校外観—(昭和7年刊)

手前が高砂橋
昭和4年に完成した
先代校舎



久松児童公園—ジャブジャブ池—
中央区撮影(昭和49年)



川は細長〜公園に。今も夏の池は子供達でいっぱい。

2 小川橋

明治19年に拳銃強盗を働いた凶悪犯、小川巡査の名にちなんで名付けられました。

すくそばに小川橋
この庁舎は
大正12年竣工



警視庁久松警察署(昭和31年)

3 久松橋

江戸、明治期にはここから西に入る支流があり、かまごを扱う店が多かったため「へつじ(龜)河岸」と呼ばれました。



久松児童公園の入口にある小川橋の由来碑。

久松町の川沿いに
喜昇座として始まり、
明治26年、明治座に



東京名所—明治座劇場—(明治時代)



震災後現地に移り、今年創業150周年!幅広い演目を上演。

現在の
久松町交差点



金座通り/日本地理風俗大系
大東京 豆南諸島 委任統治南洋(昭和14年刊)

日本橋七福神に
数えられる近くの神社



笠間稲荷神社/
平井勝夫撮影(平成18年)

現在

浜町川緑道の
北側入り口。



緑道内にある、漢方医学の復興に
尽力した和田啓十郎を記念する碑。

現在



明治12年、
久松座として
大劇場に改築するも
翌年には焼失



久松町劇場久松座繁栄之図/歌川広重(3代目)(明治12年)

※参考として川が存在した江戸時代の地図も掲載しています。橋があった時代とは異なる場合があります。

浜町川

はまちょうがわ



昭和40年代まで一部存在し、現在は埋め立てられた川

4 蛎浜橋

日本橋蛎殻町と日本橋浜町を結んだためこの名に。



浜町川日本橋浜町二丁目・日本橋蛎殻町四丁目周辺／京橋図書館撮影(昭和32年)

昭和47年に埋め立てられ跡地は緑道に



浜町の緑道／中央区撮影(昭和52年)



公園入口前に、都営新宿線の工事に発掘されたナウマンゾウの化石の紹介板が。

5 川口橋

浜町川と箱崎川との合流地点にあった橋。



箱崎川

はこざきがわ



隅田川と日本橋川をつなぎ、水運の中継として活躍しました。首都高等の建設のため昭和46、47年に埋め立て。

6 男橋

隅田川から入って最初にあった橋。



首都高の下には、隣にあった橋にちなんだあやめ第一第二公園。

7 女橋

浜町川の河口で箱崎川に架かっていた橋。



船人の守護神として信仰された金刀比羅宮。



真砂座(大正初年)／日本橋区史参考画帖(大正5年刊)



マンションの植え込みにある真砂座跡の碑。



浜町川と箱崎川があった上には首都高が走り、合流地点は浜町出入口。



中洲附近之図／新撰東京名所図会(明治34年)



浜町川—箱崎川合流点—(昭和24年)



有馬小学校に併設されている蛎殻町公園。

隅田川

すみだがわ

荒川から分岐して東京湾に注ぐ二級河川。江戸時代には下流は大川とも呼ばれ、江戸の水運を支えました。

8 新大橋

元禄時代、今よりやや下流に架橋。大橋と呼ばれた両国橋に続く橋として新大橋に。20回以上も架け替えられ、明治45年竣工のビントラス式鉄橋は明治村に移築されています。(P7、8参照)

新大橋のすぐ右下に小名木川と万年橋があります



江戸土産-新大橋万年ばし並二正木乃社一下歌川(安藤)広重(1850~1857年)

現在



旧新大橋は戦後、橋台の沈下が激しく、昭和52年に現在の斜張橋に。

戦前の絵ハガキ 工費3,213,000円 だそう

きよすはし



東京大十六橋-清洲橋一

現在



9 清洲橋

きよす

関東大震災の復興事業として昭和3年に完成して以来、今も現役。当時の両岸日本橋区中洲町と深川区清住町から一字ずつ取って名付けられました。



神田祭-日本橋浜町一/中央区撮影(昭和62年)



コラム

町名の移り変わり

今回登場する展示館周辺の江戸最後(慶応3年)から、大正の大震災後を経て、現在までの名前の変遷をご紹介します!

- 日本橋浜町 ← 浜町・久松町の一部 ← 武家地・久松町
- 日本橋堀留町 ← 堀留町 ← 堀留町・岩代町・田所町・通旅籠町・長谷川町・葺屋町ほか
- 日本橋富沢町 ← 富沢町・浪花町 ← 元浜町・弥兵衛町・新大阪町・高砂町・難波町ほか
- 日本橋人形町 ← 人形町・芳町ほか ← 堺町・堀江六軒町・住吉町・葺屋町・武家地ほか

現在は頭に日本橋と付きます



西詰南側にある国指定重要文化財の碑。

まちかど展示館訪問

そめものてんじかん

染物展示館・虎の檻

江戶時代から紺屋と呼ばれる染元の技と洒落心が光る手ぬぐいや袋物。

中央区まちかど展示館

染物展示館・虎の檻



昭和49年の夏、以前の新大橋が解体される前に家族で撮った写真。



歌川国芳「金魚づくしいかだのり」をアレンジした、夏らしい手ぬぐいも販売。遠くに富士山と鳥の点々をプラスして「無事(ぶじ)帰る」の判じ絵になっています。



歌川広重が描いた名所江戸百景「大はしあたけの夕立」をモチーフにした手ぬぐいが、店内に展示されています。



絞り染めの浴衣生地とパンプーで爽やかに。



江戸時代にお守りを入れた掛守(かけまもり)を今風に。お祭や盆踊りのスマホ掛けにもぴったり!



お話を伺った方 代表取締役 高橋 由布さん

染物展示館・虎の檻

管理者:有限会社高虎商店(平成26年度認定)
◎ 東京都中央区日本橋浜町2-45-6 ◎ 03-3666-5562
◎ 月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) ◎ 9:00~18:00(土曜日のみ17:00)
◎ ⑨ 浜町駅A2番出口 徒歩1分

「川や橋にまつわる思い出は?」私の記憶には浜町川はなく、川と言えば隅田川でした。ここから一番近い橋は新大橋です。明治時代に造られた以前の新大橋が撤去される際には、記念行事に家族で出掛けました。この取材まで忘れていたのですが、その時の写真が出てきたんです。それから古い新大橋は、明治村(愛知県犬山市)に移築されて保存されました。小学生の頃、父に連れられて車で見に行つたこともあります。現在は国の登録有形文化財になっているようですね。新大橋の上から、父と私の子供と3世代で釣りを楽しんだことも思い出です。

「最近のお客様の様子は?」近くにある相撲の荒汐部屋を見に来る外国からのお客様が、今年はかなり戻って来ました。外国の方は物おじしないのがいいですね。歌舞伎の隈取などの手ぬぐいは相変わらず人気ですが、当店の品が単にお土産用と違うのは、実用的に使っていただけのことだと思えます。また今年には神田祭が4年ぶりに行われて、浜町の人達がワクワクしているのが伝わってきました。地元のお店や企業の方達と一緒に、浜町の歴史を学んだり清掃をしたりするまちづくり活動もしていますので、まちに活気が戻るのが嬉しいです。

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくはお問い合わせください。



吹き抜けの2階にあるまちかど展示館。江戸時代の鬼瓦にはイチマスの屋号入り。



藍染の体験教室。



明治41年の東京田源。後ろが耐火蔵で、店は「赤レンガ」と呼ばれたそう。



落語の鑑賞会。



1階のお店には、洋服にも似合うオリジナル羽織コートも。

まちかど展示館訪問 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム



展示は2階に移設し和雑貨のお店が誕生。和文化教室も体験したい。

関東大震災で親父橋も落ちてしまったようですね。とはいえ、店ではみんなで昼飯を食べてから逃げたそうですよ(笑)



お話を伺った方
会長
田中 源治さん

お話を伺った方
社長
田中 源一郎さん

イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

管理者：株式会社 田源（平成30年度認定）

- 東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 ☎ 03-3661-9351
- 年末年始等を除く毎日（不定休あり） ☎ 10:00~17:30
- 小伝馬町駅1番出口 徒歩3分 ● 人形町駅A4番出口 徒歩5分

川にまつわるエピソードは？
以前の店は長谷川町（現・日本橋堀留町）にあり、明治期にドイツから耐火煉瓦を取り寄せて土蔵を建てました。関東大震災の時は、火の手が見える中、店の反物を土蔵に詰められるだけ詰め、残りを大八車に積んで逃げたそうです。ところが当時近くにあった東堀留川の親父橋が逃げる人で大渋滞し、大八車をあきらめざるを得なかったとか。戻ってみると焼け野原に蔵だけがボツンと残っていて、1ヵ月後には復興のための蔵出し大売出しができたそうです。私が若い頃、経験した番頭に何度も聞いた話です。（源治さん）
展示館は2階に移設したのでね
コロナ禍で地方と行き来する人も減ってしまった頃、より地元の皆様が親しまれる呉服問屋をめざして、1階には食器や和雑貨を扱う小売のお店をオープンしました。さらに2階の展示館につながるイベントスペースでは、落語鑑賞会を開催したり、近くの子供達に参加できる和文化ワークショップを行ったりと、問屋を超えたさまざまな取り組みを始めたのです。一般のお客様がぶらりと立ち寄ってくださることも増えました。以前から日本橋の着物のイベントには深く関わって来ましたが、これからも地域のつながりを大切にして、和文化全般をもっと伝えていきたいですね。（源一郎さん）



季節に合わせた表装作品が展示されています。



都電の軌道を通る先代の新大橋。
※旧新大橋/昭和42年

毎年9月に行われる震災避難記念碑の清掃活動。（P12・14参照）
碑の清掃では、消防署の協力で消火栓の水をバケツリレー。大きな石碑を30人程で丸洗っています。



お話を伺った方
稲崎 知伸さん

Point解説

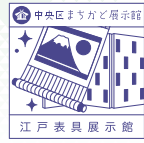
風帯（ふうたい）
昔の中国で掛け軸を屋外鑑賞する際、燕よけだったものが日本で飾りに。

掛け軸には丸表装、三段表装といった格が異なる仕立て方があります。こちらは佛表装を現代的に仕上げた作品。



まちかど展示館訪問 江戸表具展示館

江戸表具の伝統を伝えながら、浜町を盛り立てる6代目の気概。



江戸表具展示館

管理者：経新堂稲崎（平成26年度認定）

- 東京都中央区日本橋浜町2-48-7 ☎ 03-3666-6494
- 月～土曜日（祝日・年末年始等を除く） ☎ 9:00~18:00
- 浜町駅A2番出口 徒歩1分

以前あった川や橋はご存知ですか？
浜町川はよく覚えていますが。子供の頃は周りに船宿が多くあり、同級生の家もそうで船に乘せてもらいました。埋め立てが決まった時には、みんなで思い出を語りながら見納めに行きましたね。橋で言えば、前の新大橋が格好良く、都電も走っていました。昭和46年に都電が廃止されて首都高ができ、浜町川の埋め立て、新大橋の架け替えと川の景色も変わっていききました。
浜町のまちづくり活動をしているとか？
地元の町会や商店、企業、個人が一体となって、日本橋浜町エリアマネジメントという一般社団法人を作り幅広い活動をしています。その二つが、2年前から始めた新大橋の関東大震災避難記念碑の丸洗いです。長年放置されていたため、石碑は苔むし、区教育委員会の解説板も汚れて読めない状態でした。そんな活動が爽り、今年、区民文化財に指定されましたよ。また浜町駅の工事で発見されたナウマンソウの化石「浜町標本」についても勉強会を重ね、発掘の地の案内板を立てることができました。（P4参照）
表装のお仕事は最近いかがですか？
新規や修復の仕事の他に、全国の催事で表装作品の展示販売もしていますが、今は催事がだいぶ復活しました。古い書画を残そうという機運は若い方からも感じられますね。

親の思い出の品
と言う背負いつづらが修理に持ち込まれました。

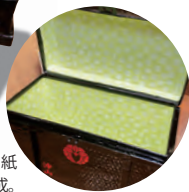


木製の枠を外して
つづら本体を修復
します。



家紋も鮮やかに新品
のように甦りました。

内側に化粧紙
を貼って完成。



天井には製作中のつづらがたくさん。



壁面ショーケースに製作工程の
解説などを展示。

ひどい虫食いなどで
修理できない場合も
ありますので、お気軽に
相談してください。



お話を伺った方
岩井 恵三さん

お話を伺った方
6代目当主
岩井 良一さん



好きな絵柄や家紋を入れることもできます。
招き猫と狛犬は、型を2枚ずつ使って丹念に
描いたもの。



まらかど展示館訪問
美しく実用的な伝統工芸品、つづらを作り続ける都内唯一の店。

つづら学習館

管理者: 有限会社岩井商店 (平成30年度認定)

- ④ 東京都中央区日本橋人形町2-10-1 ⑥ 03-3668-6058
- ⑤ 月～土曜日 (祝日・年末年始等を除く) ⑦ 10:00～17:00
- ⑧ ⑨ 人形町駅A1番出口 徒歩2分

※つづら製作のため入店できない場合があります。

— 川のおい出は何がありますか? —
浜町川には、よく釣り船や砂利船が泊まっています。川は汚かったけれど隅田川よりはマシだったかな(笑)(良さん)
箱崎川の方には同級生がいて、川の周りの道路でよく遊びました。今思うと堤防がすごく低くて危なかったね。あの辺は川で荷物を運んだ名残が、今でも問屋や倉庫が多くあります。道端にも堤防の跡が残っていますよ。(恵三さん)(P.13, 15 参照)

— つづらの修理を教えてください —
ちようど修理が終わった背負いつづらがありますが、竹かごに木枠が釘打ちしてあり、肩に掛ける紐も付いていました。内側の和紙を剥がして釘を抜くことから始め、水につけてすべての漆と和紙を剥がします。竹かごを補修したら、新しい製品同様に内張り、縁や角の補強、外張りとするため、下地塗りの後力シユール漆を塗って仕上げます。最後は木枠と合わせて内側に化粧紙を。今は木枠のある形は作っておらず、修理のみお受けしています。(良さん)

— お店の様子は変わりましたか? —
この数年はお客様も見学の方もガクッと減ってしまいましたが、今年は元に戻りつつあります。毎月第2土日に開いていた「つづらやさんの和ざっか市」もそろそろ再開したいですね!(恵三さん)

大ヒットしたアニメ映画『君の名は。』に登場する組紐を、公式アイテムとして忠実に再現。



正倉院の宝庫に残る組紐を復元する研究も。



組紐の道一筋に来て、今年、お陰様で黄綬褒章をいただくことができました。これからも子供達と交流していきたいですね。



龍工房では、小型の丸台を使って組紐体験ができます。詳細はお問い合わせください。



お話を伺った方
代表取締役
福田 隆さん



組紐体験の様子。



桑の葉



落ち葉で草木染め

江戸東京組紐 龍工房体験展示館

管理者: 株式会社龍工房 (平成30年度認定)

- ④ 東京都中央区日本橋富沢町4-11 ⑥ 03-3664-2031
- ⑤ 月～金曜日 (祝日・年末年始等を除く) ⑦ 11:00～16:00
- ⑧ ⑨ 人形町駅A4番出口 徒歩2分 ⑩ 浜町駅A1番出口 徒歩7分

※組紐体験は要予約。詳細はお問い合わせください。

— ささまざまなジャンルでご活躍ですね —
日本で行われたラグビーワールドカップの際は、金銀銅メダルのリボンを、純国産シルクの組紐で製作させていただきました。またアニメ映画『君の名は。』では、若い方にも組紐を知ってもらうことができたと思います。息子の隆太は組紐を使った各界の一流ブランドとのコラボレーションを幾つも手掛けています。

— 小学校で行っているプロジェクトとは? —
「江戸で養蚕の会」を作り、中央区の後援や大日本蚕糸会の協力も得て、区内の小学校の校庭に桑の木を植え、その葉で養蚕をするという活動をしています。今の子は桑も蚕も全く知らないですからね。今年まず日本橋の小学校から始め、5月には植樹も終えました。子供達が蚕を育てて繭にし、繭から採れた糸は校庭の落ち葉を使って草木染めをして、みんなでランドセルの紐等を作る予定です。すでに各校で組紐の体験会も行いました。まずは保護者の方々に講習会をして、子供達が体験する時は皆さんにサポートしてもらおうんです。お母さん達が楽しんでくれて、子供達からも感謝の手紙がたくさん届きましたね。そういうのが私の原動力です。目標は子供達に、未来に繋げたいんです。

4 キッチンハタノ
 >> P15



浜町川の跡地にある路地裏の洋食店。先代がここで精肉店を営んでいたそう、店主を育てた焼売やコロッケの味を原点に、家庭的な洋食メニューを作り続けています。常連さんに愛されるのも納得。



イチマス田源
 呉服問屋ミュージアム
 >> P9



江戸東京組紐
 龍工房体験展示館
 >> P10



染物展示館・虎の檻
 >> P7



江戸表具展示館
 >> P8

夏のまちをぶらぶら歩こう

日本橋エリア 散策MAP

今回は隅田川から人形町通りまでのエリアで、展示館おすすめのお店や注目スポットをご紹介します。展示館の行き帰りに立ち寄ってみましょう。

5 三光稲荷神社
 >> P15



細い参道を入った所にある基本無人の小さな神社。江戸三座の一つである中村座に出演していた歌舞伎役者関三郎が伏見より勧請したと言われ、娘子供、芸妓の参拝で賑わったとか、落語「百川」にも登場します。

6 たがやす人形町店
 >> P15



2018年にからくり橋（江戸落語の前にオーソニック）風変わった店名は、下町風情が残るこの地をしっかり耕し、種を撒き作物を育てる...地元を根付いて愛されるお店にどう想いで付けたそう。



つづら学習館
 >> P11

箱崎川護岸跡
 >> P15



現在の首都高速6号線の下に昭和46年まで流れていた箱崎川。その堤防の部がコンクリート区立公衆便所の間の歩道脇にさりげなく残っています。こんな痕跡から川を想像してみてください。

1 浜町公園
 >> P14



江戸時代には武家屋敷があった地に、震災復興として造られた公園。中央区立の公園では一番の広さを誇り、総合スポーツセンターや浜町運動場、芝生広場、遊具広場、デイキャンプ場もあります。

2 関東大震災避難記念碑
 >> P14



大正12年の関東大震災で隅田川の多くの橋が焼け落ちる中、新大橋は被災せず、橋上に避難した大勢の命を救いました。橋上で助かった人達が昭和8年に建立した碑を昭和39年に以降に再建したのも。

3 Hama House
 >> P14



ガラス張りと植栽がお洒落なブックカフェ。「街のリビング」というコンセプトの通り、吹き抜けの書棚に並ぶ本を読みながらカフェが楽しめます。本のセレクトも好奇心が湧くものばかり。

中央区・江戸バス
 北循環ルート
 土・日・祝のみ

江戸バスの情報はこちらから! ▲

おすすめ スポット

まちかど展示館の皆さんから
おすすめスポットをご紹介します！

知らない場所を巡るのもまち歩き醍醐味。
暑い季節の散策は休憩もお忘れなく！

※臨時休業や営業時間の変更を行う場合があります。詳しくは各店へお問い合わせください。



中央区まちかど展示館 制作スタッフおすすめ



たがやす人形町店

- 住所／中央区日本橋人形町2-2-3 堀口ビル1F
- TEL／03-6810-7930
- 営業時間／11:00～19:00
- 不定休／お問い合わせください

**和食材を取り入れた
創作洋菓子に注目したい**
フランスで4年間修行、一流ホテル等を経た店長が手掛けるスイーツは、和のテイストを感じさせる独自の美味しさで人気。館とチヨコを組み合わせたシヨコラようかんは手土産にも喜ばれます。



江戸東京組紐 龍工房体験展示館



福田さんおすすめ

キッチンハタノ

- 住所／中央区日本橋富沢町13-10
- TEL／03-3639-0968
- 営業時間／夜は1Fのみ11:30～14:00 17:30～21:30 (LO20:30)
- 土日祝休

**昔懐かしい洋食の味
2階のシステムも楽しい**
平成元年オープンながら店内には昭和の香りが漂い、肩肘張らずに洋風定食が楽しめます。2階席は料理ができたら自分でリフトに取りに行くシステムで、ランチが100円引きになるのも嬉しい。



江戸表具展示館



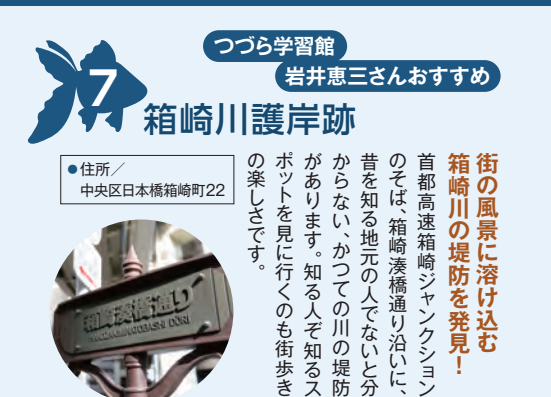
稲崎さんおすすめ

関東大震災避難記念碑

- 住所／中央区日本橋浜町2-57先



**「人助け橋」の記念碑が
この春、区民文化財に**
大きな石碑に避難の様子が真に迫る文章で残されそはの説明碑には、新大橋西詰派出所の警官達が多数の人を誘導するなどして活躍したと記されています。まさに貴重な歴史資料！(P8参照)



つづら学習館

岩井恵三さんおすすめ



箱崎川護岸跡

- 住所／中央区日本橋箱崎町22



**街の風景に溶け込む
箱崎川の堤防を発見！**
首都高速箱崎ジャンクションのそば、箱崎湊通り沿いに、昔を知る地元の人でないとならない、かつての川の堤防があります。知る人ぞ知るスポットを見に行くのも街歩きを楽しめます。

イチマス田源 呉服問屋ミュージアム



田中源一郎さんおすすめ

三光稲荷神社

- 住所／中央区日本橋堀留町2-1-13



**失せ猫探しで有名
祈願は近くのお店へ**
古くから猫を見失った際に霊験ありとされ、参道の石碑や境内の招き猫は、猫が無事に帰ったお礼として奉納されたもの。失せ猫祈願やご朱印の申し込みは、人形町通りの化粧品店オキナへ。



染物展示館・虎の橋



高橋さんおすすめ

Hama House

- 住所／中央区日本橋浜町3-10-6
- TEL／03-6661-7084
- 営業時間／月～金 11:30～21:00 (LO20:00) 土日祝 11:00～19:00 (LO18:00)
- 不定休／お問い合わせください

**ランチもスイーツも美味
本に囲まれて至福の時間**
こだわりのコーヒーと本で街歩きの休憩タイムを。気に入った本は購入もできます。ヘルシーな日替わりデリのランチやプリンも大好評！卵たっぷりふくらみスクレットパンケーキもおすすめてです。

中央区まちかど展示館



制作スタッフおすすめ

浜町公園

- 住所／中央区日本橋浜町2-59-1



**区を代表する広大な公園
木陰でのんびりひと休**
さまざまな施設が揃い、近隣の子供達からビジネスパーソン、観光客まで多くの人が憩います。2020東京オリンピックの聖火リレーでは式典会場となりました。公園内には加藤清正を祀るお寺も。



水天宮の賑わいと江戸前寿司

すしに蕎麦、鰻に天麩羅、酒に珈琲、すき焼きにカレー、飴にあんみつ：中央区には江戸から今に至る食の痕跡がたくさん散らばっています。浮世絵や日本画、洋画などアートの世界にヒントを得ながら、食の痕跡を追いかけ、絵画の道楽も満喫してみませんか。



『東京名所之内 人形町通り水天宮』歌川 広重(3代目) 1876年(明治9年)



水天宮-日本橋区蛸殻町有馬邸内の水天宮社前 明治時代
明治に撮影された写真は当時の賑わいを伝える。屋台が並ぶ門前に多くの参拝客が行き交う。
画像提供:上下共中央区立京橋図書館

「昆寿司」人形町に店を構え100年。江戸時代、仕事をほどこした魚介と酢飯とを用いた握り寿司が誕生。屋号は江戸前寿司の開祖とされる「与兵衛鮎」で修行した初代・油井昆太郎の名前から。街に寄り添いながら江戸前寿司の老舗として変わらぬ味を守り続ける。水天宮から徒歩5分ほど。中央区日本橋区人形町2丁目7-13(P13マップ参照)



お昼の「にぎり」は定番の8貫と巻物。玉子、車海老には北海道のすり身を用いた「おぼろ」が挟まる。



四代目主人、油井一浩さん。この地で育ち街の変化を見つめてきた。「時代が変わっても、お客さんがお店に合わせてくれるんです。僕たちは何も変える必要がないんです」



林 綾野 キュレーター、アートライター



美術館での展覧会企画、美術書の執筆などを手掛ける。著作『画家の食卓』『浮世絵に見る江戸の食卓』など。企画した「堀内誠一 子どもの世界」が福井県ふるさと文学館で開催中(9月18日まで)。「谷川俊太郎 絵本★百貨展」が清須市はるみ美術館で(9月9日~11月26日)。「安野光雅展」があべのハルカス美術館で開催予定(9月16日~11月12日)。

水天宮、変化しながら息づく街

「水天宮」は元は筑後久留米にあり、1818年、久留米藩主の有馬頼徳が芝赤羽橋の上屋敷内に勧請して祀ったことに始まります。その後、青山に移転し、1872年に現在の場所に移されました。移転後はこの地で安産や子授けのご利益がある神社として信仰を集めます。本来、藩邸内社としての一般の人たちが参拝することはできませんでした。しかし毎月5日の縁日に一般に開放された為「なさけ有馬の水天宮」と言われ、多くの人々に親しまれるようになります。

三代目歌川広重は、1876年(明治9年)、『東京名所之内 人形町通り水天宮』に水天宮門前の様子を描いています。2つの鳥居を構える参道に多くの人が行き交い賑やかな様子です。緑色の鳥居の左右に満開の桜の木が描かれていますので季節は春。傘をさしている人もおり小雨が降っているようです。三代目広重は初代広重の門人として幕末から明治にかけて活躍した浮世絵師。東京の名勝や開港時の横浜の風景など、文明開化の社会事象を伝える絵を数多く描きました。ここでも多くの人は着姿ですが、洋服を着て高帽子を被っている男性もいます。傘も和傘、洋傘が入り混じり、文明開化華やかさ

頃の東京の風情が快活に描き出されています。この辺りは江戸時代から現在まで社会の様相と共に様変わりしながら繁栄してきました。江戸開府直後、歌舞音曲の名人猿若勘三郎が開いた猿若座、後の中村座があったのもこの辺りです。歌舞伎だけでなく人形芝居や見世物の小屋も立ち並び、それに付随する手工芸、飲食業も発展しました。吉原があった時期、花街として知られた時期もあり、繁華街として常に人々が楽しみ、集う賑やかな場所なので。

この地で店を構えてから二〇〇年を迎えるという江戸前寿司の老舗「昆寿司」を訪ねました。創業は柳橋(現東日本橋)で、明治後期にまでさかのぼります。初代は江戸前鮎の開祖と言われる「与兵衛鮎」で修業をした人物。1923年に現在の場所に移転しました。四代目主人、油井一浩さんにお店に集まる人たちがどのように変化してきたかがうかがえました。「40年くらい前は繊維業界の方々、20年くらい前は会社の役員の方々が多くいらっしゃいました。今は外国の方も多く、年齢層も幅広く、あらゆるジャンルの方々が来ますね」。江戸から明治、そして令和にいたるまで、水天宮界隈は時代の移ろいとともに変化を遂げながら、この浮世絵にも描かれるように常に活発に息づいてきたのです。

日本橋エリア

13 伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1 / 03-3664-9261
年末年始を除く毎日 / 8:00~20:00
(店舗は11:00~17:00 / 月~金曜日 / 祝日・年末年始等を除く)



14 小伝馬町牢屋敷展示館

東京都中央区日本橋小伝馬町5-19 十思スクエア別館内 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00~17:00)
年末年始を除く毎日 / 9:00~20:00



15 江戸屋所蔵刷毛ブラシ展示館

東京都中央区日本橋大伝馬町2-16 / 03-3664-5671
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~17:00



16 イチマス田源 呉服問屋ミュージアム

東京都中央区日本橋堀留町2-3-8 / 03-3661-9351
年末年始を除く毎日(不定休あり) / 10:00~17:30



17 江戸東京組紐 龍工房体験展示館

東京都中央区日本橋富沢町4-11 / 03-3664-2031
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 11:00~16:00
※要予約。展示の見学は予約不要。



18 つづら学習館

東京都中央区日本橋人形町2-10-1 / 03-3668-6058
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 10:00~17:00
※つづら製作のため入店できない場合があります。



19 三勝ゆかた博物館

東京都中央区日本橋人形町3-4-7 / 03-3662-3860(平日11:00~16:00)
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 14:00~16:00
※1週間前までに要予約。見学は1時間以内。



20 箱崎町箱四町会神輿庫

東京都中央区日本橋箱崎町26-1 /
03-5962-3137(平日 月~金曜日 9:00~12:00)
通年 / 8:00~18:00



21 染物展示館・虎の檻

東京都中央区日本橋浜町2-45-6 / 03-3666-5562
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00(土曜日のみ17:00)



22 江戸表具展示館

東京都中央区日本橋浜町2-48-7 / 03-3666-6494
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~18:00



23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

東京都中央区日本橋1-19-1 / 03-3278-6611
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日7:30~19:30 土曜7:30~13:30



24 聚玉文庫ギャラリー

東京都中央区日本橋2-7-1 / 03-3272-3801
通年(祝日・年末年始・盆休みを除く) / 10:00~18:30(土日は17:30まで)



25 兜町・茅場町まちかど展示館

東京都中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 / 090-2465-4001(10:00~19:00)
通年 / 8:30~20:00

月島エリア

26 佃まちかど展示館

東京都中央区佃1-2-10先 /
03-3546-5346 (中央区区民部文化・生涯学習課内9:00~17:00)
通年 / 常時開館



27 石川島資料館

東京都中央区佃1-11-8 ビアウエストスクエア1F / 03-5548-2571
水・土曜日(年末年始等を除く) /
10:00~12:00、13:00~17:00(入館は16:30まで)



28 勝どき・豊海歴史資料展示館

東京都中央区勝どき1-9-8 月島第二児童公園内 /
03-3531-0092(11:00~16:00)
毎月 第2土・日曜日 / 10:00~16:00



29 ふるさと晴海資料展示館

東京都中央区晴海2-4 晴海臨海公園内 /
080-7723-3158(11:00~16:00)
通年 / 常時開館



まちかど展示館

江戸開府以来400年以上の歴史と伝統を誇る、中央区に伝わる多様な文化資源をご紹介します。

中央区は江戸時代より、わが国の文化・商工業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。この魅力を皆様幅広く知っていただくため、地域の文化資源を「まちかど展示館」として整備し、開設しています。展示館の規模や展示方法はそれぞれですが、中央区が誇る文化の一端をかいまみることができます。中央区の“ちょっとすごい”をぜひ、お訪ねください。

銀座・京橋エリア

1 江戸ほうき展示館

東京都中央区京橋3-9-8 / 03-3563-1771
月~土曜日(年末年始等を除く) / 10:00~19:00



2 仏壇・仏具の歴史館

東京都中央区銀座7-14-3 / 03-3542-5771
年末年始を除く毎日 / 10:00~18:00



3 渡邊木版画展示館

東京都中央区銀座8-6-19 / 03-3571-4684
月~土曜日(年末年始等を除く) / 月~土11:00~18:00 祝日11:00~17:00



4 月光荘画材展示館

東京都中央区銀座8-7-2 / 03-3572-5605
年末年始を除く毎日 / 11:00~19:00



5 銀座かなめ屋・かんざし和装小物展示館

東京都中央区銀座8-7-18 / 03-3571-1715
月~土曜日(祝日・年末年始等を除く) / 平日11:00~20:30 土曜12:00~19:00



6 足袋の博物館

東京都中央区新富2-2-1 / 03-3551-0896
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) / 9:00~17:00



7 ミズノプリンティングミュージアム

東京都中央区入船2-9-2 / 03-3551-7595
月~金曜日(祝日・年末年始等を除く) ※要予約 / 10:00~16:00



8 松竹大谷図書館

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3F / 03-5550-1694
月~金曜日(祝日・年末年始・毎月最終木曜日等を除く) / 10:00~17:00
※前日までの予約制。展示の見学は予約不要。



9 のれん・提灯・下絵の展示館

東京都中央区築地6-5-5 / 03-3541-3741
月~土曜日(祝日・年末年始・市場休業日等を除く) / 7:30~17:30



日本橋エリア

10 楊枝資料館

東京都中央区日本橋室町1-12-5 / 03-5542-1905
月~土曜日(祝日を除く) / 月~金10:00~17:00 土12:00~17:00



11 Daiichi Sankyo くすりミュージアム

東京都中央区日本橋本町3-5-1 / 03-6225-1133
火~日曜日・祝日・振替休日(年末年始等を除く) / 10:00~18:00
※要予約



12 小津史料館

東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル /
03-3662-1184
月~土曜日(年末年始等を除く) / 10:00~18:00

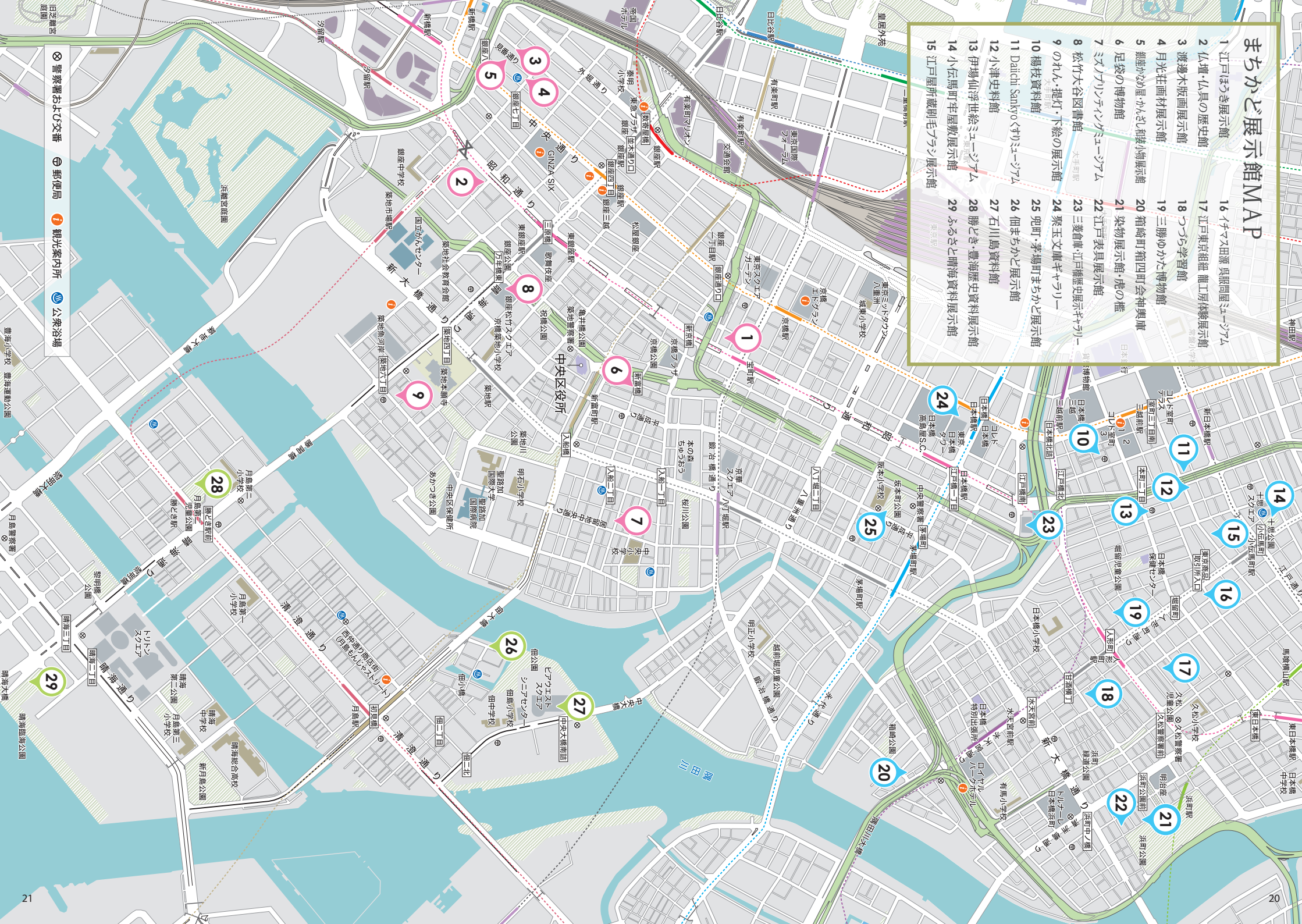


※臨時休館や開館時間を変更している場合があります。詳しくは各館にお問い合わせください。

スタンプを設置している展示館です。

まちかど展示館MAP

- 1 江戸ほろぎ展示館
- 2 仏壇・仏具の歴史館
- 3 渡邊木版画展示館
- 4 月光荘画材展示館
- 5 銀座かんざし館と和装博物館
- 6 足袋の博物館
- 7 ミスプリアテナムミュージアム
- 8 松竹大谷図書館
- 9 のれん・提灯・下駄の展示館
- 10 楊枝資料館
- 11 Daichi Sankyoベトナムミュージアム
- 12 小津史料館
- 13 伊場仙浮世絵ミュージアム
- 14 小伝馬町年屋敷展示館
- 15 江戸屋新蔵刷毛ブラシ展示館
- 16 イチヤス田源 呉服問屋ミュージアム
- 17 江戸東京細盤 龍工房体験展示館
- 18 つつら学習館
- 19 三勝ゆかた博物館
- 20 箱崎町箱四町会神輿庫
- 21 染物展示館・虎の檻
- 22 江戸表具展示館
- 23 三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー
- 24 聚玉文庫ギャラリー
- 25 兜町・茅場町まちかど展示館
- 26 佃まちかど展示館
- 27 石川島資料館
- 28 勝どき・豊海歴史資料展示館
- 29 ふるさと晴海資料展示館



⊗ 警察署および交番
 Ⓧ 郵便局
 1 観光案内所
 🏊 公衆浴場

